

# シリーズ 土地改良のあしあと 野代村土地改良区(桑名市)



完工記念碑

本地区の基盤整備は昭和28年～昭和39年にかけて行われた団体営区画整理事業であり、「野代村土地改良区」は昭和28年6月17日に県より認可を受け設立されました。

本地区は区画整理後、木曾川水系の一つである揖斐川に面していることから、揖斐川の洪水水位の上昇や樋門による自然排水量の減少、堤防からの浸透量の増加、ポンプの排水能力低下、更には地盤沈下が顕著となり、現況排水施設では完全な排水が不可能となりました。

そこで、地区内の完全な排水を目的に、昭和42年度に県営湛水防除事業により排水機の増設、排水路の改修を行い、農地の保全化を図りました。

その後、新設された排水機も耐用年数が超過し、形式も古く、故障時の部品確保も難しくなったことより、平成8年度に土地改良施設修繕保全事業「野代地区」により改修を行い、排水施設の保全に努めてきました。

また、用水についても揖斐川から取水していましたが、流量が少なくなると塩害を生じるため、三重用水事業で用水量を確保し、平成2年度に団体営かんがい排水事業「野代地区」で用水路を改修し、受益全体に均一配分することができるように、用水の有効利用に努めてきました。

今後も、土地改良事業を活用し、施設の維持管理に努め用排水改良により水稻の品質向上と取水施設の安全確保、併せて農業経営の合理化と維持管理費の節減により農業生産性を向上させ、農家収入を増加させるように、土地改良区(受益面積198ha、組合員226人で理事6人、監事4人、総代30人)が中心となり、地域農業を守っていききたいと思います。



野代排水機場



大鳥居排水機場



野代村地区全景